

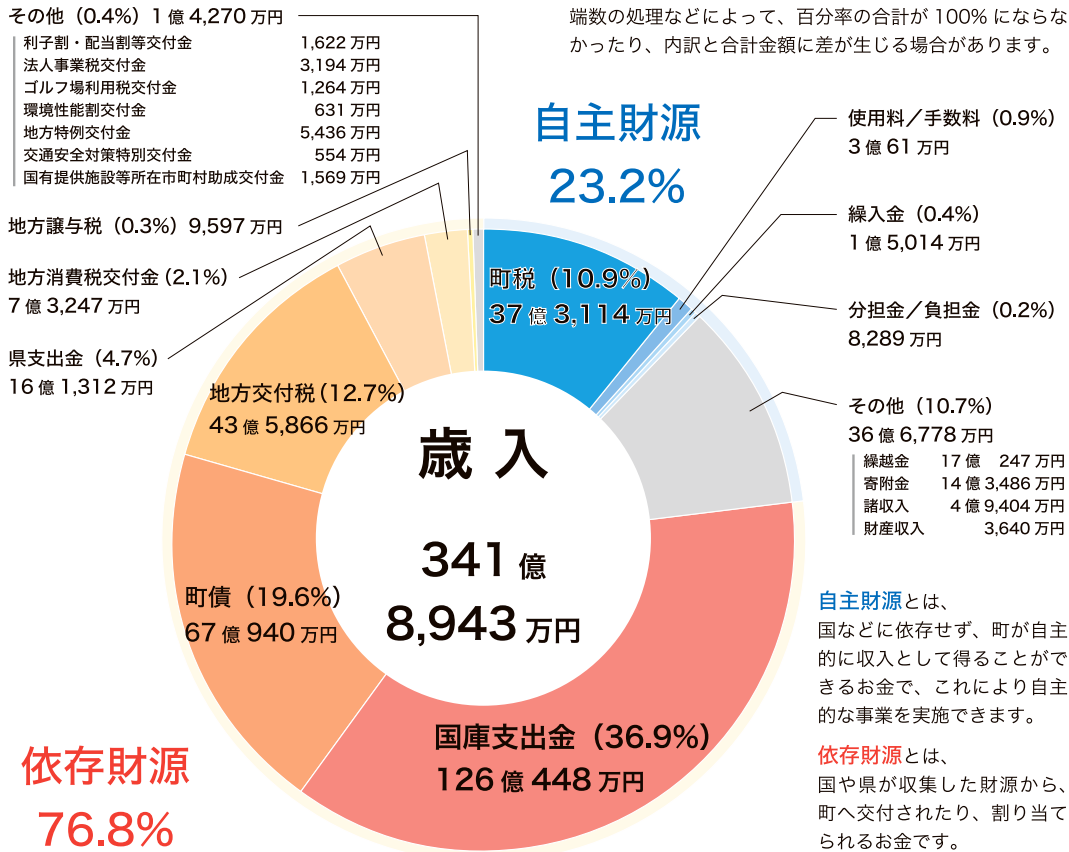
令和2年度 決算状況

9月の町議会定例会で、令和2年度の益城町一般会計および特別会計の決算が認定されました。

一般会計では、歳入総額341億8,943万円に対し、歳出総額は327億2,543万円で、令和3

年度に繰り越す財源2億5,168万円を差し引いた額(実質収支)は、12億1,232万円の黒字となりました。

なお、前年度の決算と比較すると、歳入が29.5%減、歳出が30.1%減となっています。



歳入用語の説明

町税…町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税など。

地方譲与税…国税として徴収され、一定基準により、国から町へ配分されたお金。

地方消費税交付金…地方消費税の一部を、人口などに応じて交付されたお金。

地方交付税…自治体が等しく行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国から配分されたお金。

分担金/負担金…保育所や老人ホーム入所などにより利益を受ける人から収められたお金。

使用料/手数料…公営住宅の家賃や住民票などの証明発行時に収められたお金。

国庫/県支出金…町の特定事業に対して国(または県)から交付されたお金。

繰入金…基金(町の貯金)や特別会計などから繰り入れられたお金。

町債…町が行う公共事業などの財源として、国や金融機関から借りたお金。

各会計歳出決算額比較表

会計区分	令和2年度	令和元年度	増減率(%)	
一般会計	327億 2,543万円	467億 9,101万円	△30.1	
特別会計	国民健康保険	34億 7,297万円	33億 9,354万円	2.3
	後期高齢者医療	4億 2,442万円	3億 8,506万円	10.2
	介護保険	30億 5,033万円	31億 0,089万円	△1.6
	小計	69億 4,772万円	68億 7,949万円	1.0
水道事業	4億 6,671万円	4億 5,560万円	2.4	
下水道事業	12億 7,346万円	21億 6,947万円	△41.3	
合計	414億 1,332万円	562億 9,557万円	△26.4	

■ 下水道事業は、令和2年度から公営企業会計へ移行